



横浜開港 150 周年記念関連事業

道路・安全管理委員会
平成 20 年 9 月 17 日
道 路 局

「日本大通りフラワーアートフェスティバル」の開催について

～イベント名称とプレイベントの日程が決定しました！～

横浜開港 150 周年記念関連事業として、日本初の西洋式街路である「日本大通り」において、市民参加のもと「花」と「アート」をテーマに、「日本大通りフラワーアートフェスティバル」を平成 21 年 5 月 2 日（土）～4 日（月・祝）に開催します。

横浜開港の歴史をしのぶとともに、道路の大切さを認識していただき、道路をより身近に感じていただくことを目的として、道路に花びらを敷きつめて「花絵」を描き、「日本大通り」を花絵のカーペットで埋め尽くします。

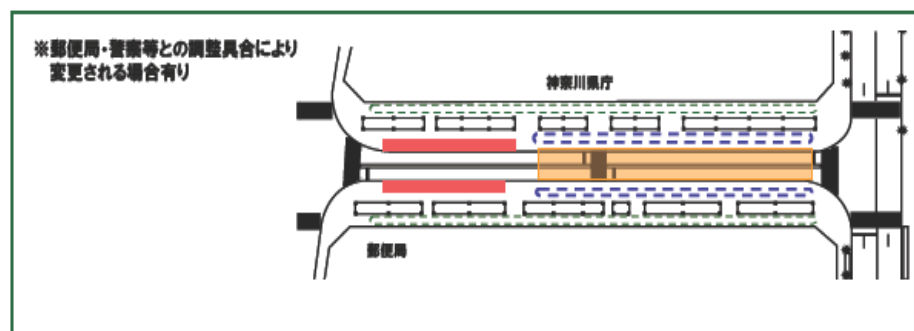
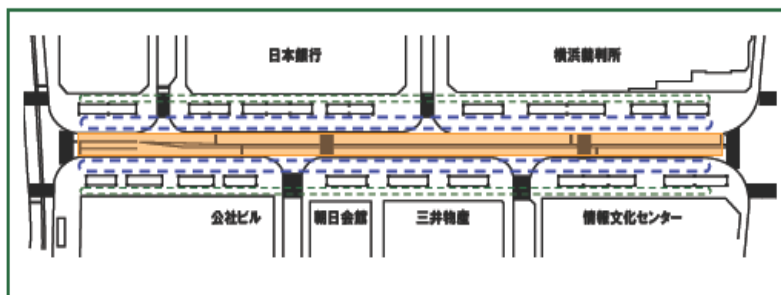
イベントを市民の皆様と盛り上げるために、作家の山崎洋子さんを委員長とする実行委員会が設立され、開催準備を進めています。

なお、プレイベントを平成 20 年 11 月 22 日（土）～24 日（月・祝）に開催します。

1 「日本大通りフラワーアートフェスティバル」概要

- (1) 会 場 日本大通り（横浜公園～象の鼻地区）の約 300m
【車道 9 m、歩道 13.5m×2】
- (2) 日 程 平成 21 年 5 月 2 日（土）～4 日（月・祝）【荒天時：順延】
- (3) 内 容 車道：花びらで描く花絵の作成
歩道：ハンキングバスケットやフラワーアレンジメント等による装飾
- (4) 市民参加 市民公募を行う予定です。
【花絵作成：約 2,500 名、花絵メンテナンス：約 100 名】
- (5) 事業費 約 7,000 万円（プレイベントの費用を含む）
事業費の約 2 分の 1 は、企業からの協賛金を予定しています。

横浜公園



象の鼻地区

【会場図】



【イベントイメージ図】

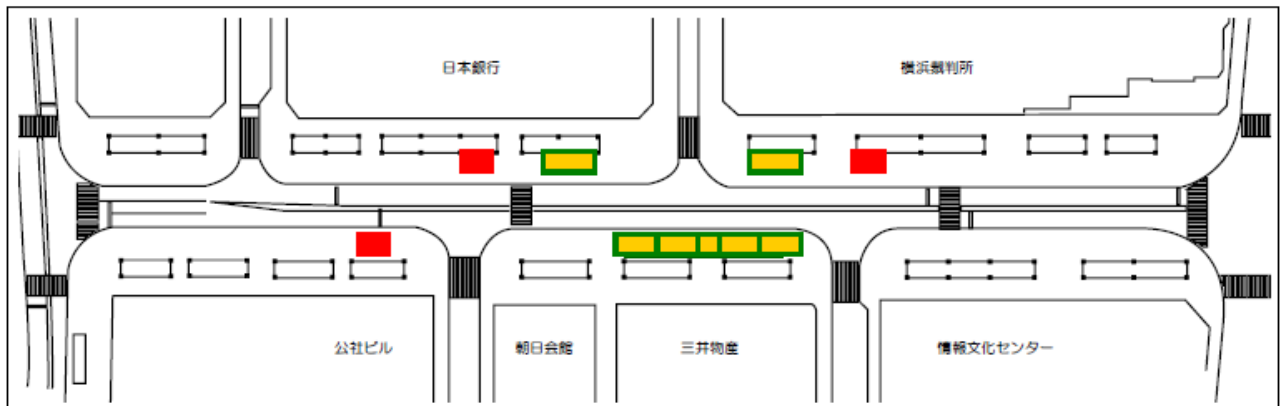
【参考：花絵の起源】

13世紀頃から、イタリア全土で「キリストの聖体の祝日」に行列を行い、花を道に撒く習慣がありました。1625年にサンピエトロ寺院の中で、モザイク風の花のデコレーションで飾られたのが始まりと言われており、その後、ヨーロッパを中心に各国・各地で広まっている人気の高いフラワーイベントです。日本でも、神戸・長野・晴海等で行われており、高い人気を得ています。

イタリア語で「インフィオラータ」と呼ばれており、「花の絨毯」という意味です。

2 プレイベント概要

- (1) 会場 日本大通り三井物産ビル前ほか、3箇所の歩道（約200㎡）
- (2) 日程 平成20年11月22日（土）～24日（月・祝）【荒天時：期間変更あり】
- (3) 内容 花びらで描く花絵の作成（7枚程度）
花絵のデザインは、「横浜の風景」を中心に、実行委員会で案を検討中です。
- (4) 市民参加 10月から市民公募を行う予定です。
【花絵作成：200名、花絵メンテナンス：10名】
- (5) 事業費 約1,000万円



■ 花絵設置場所 ■ テント設置場所

【会場図】

3 実行委員会

- (1) 委員 作家・山崎洋子さんを委員長として、「日本大通り活性化委員会」のメンバーを中心に、市民代表としてのハマロードサポーター、行政代表等を含め17名で構成しています。
(3ページの委員会名簿をご参照ください。)
- (2) 開催状況 平成20年6月12日に第1回目を開催。
平成20年8月6日に第2回目を開催。
イベント終了時まで5～6回を予定。